

# デジタルアーカイブをデザインする

「まだそこにいない」利用者に共感し  
本当に使われるサービスを作るために

大橋正司 サイフォン合同会社

五十嵐佳奈 ゼロベース株式会社



# デジタルアーカイブの利活用が昨今課題

未知のユーザーに  
「使ってもらえる」  
デジタルアーカイブって  
どうやって作るの？

ユーザーって  
どんなユーザーを  
想定すればいいの？

こんなユーザーがいるはず。  
その想像、幻想になってませんか？  
という問題へのアプローチが必要

## 狭義の利活用

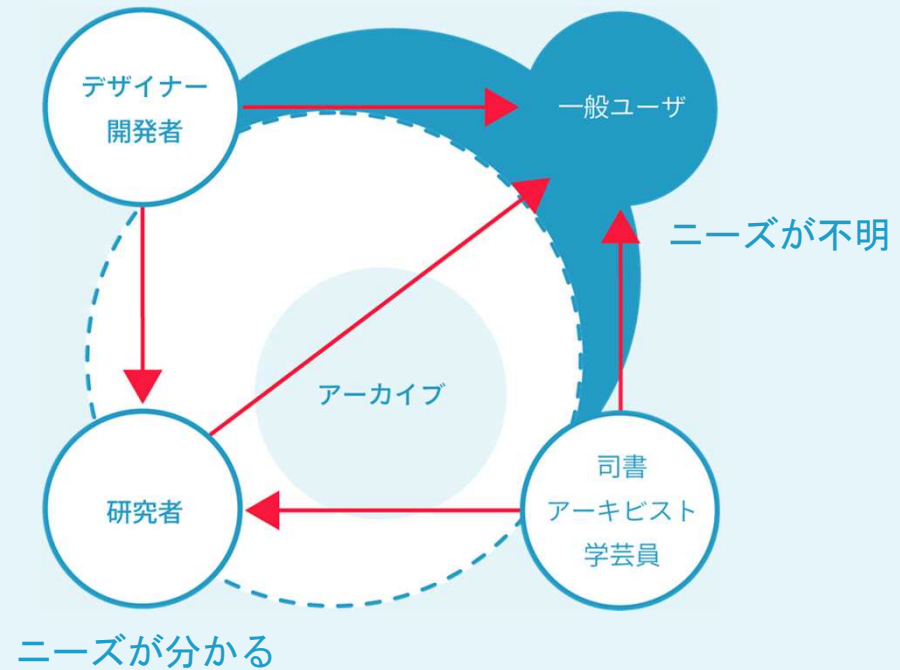
業務・研究ツール

専門家が  
特定の用途で用いる

## 広義の利活用

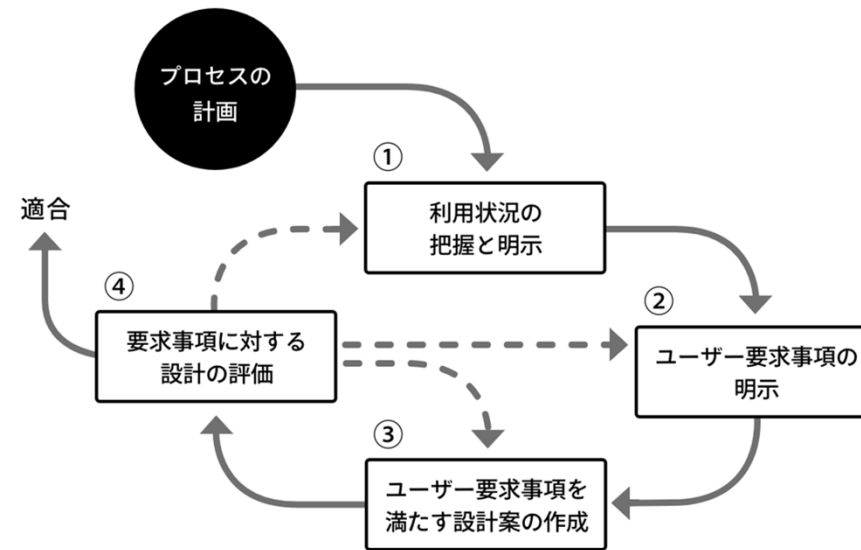
デジタルサービス

一般ユーザーが  
多様な動機と用途で用いる



ちゃんと  
手法があります！

# 人間中心設計



# 論より証拠！ ユーザー調査 やってみた！



## 一般ユーザー

大学院生(修士)Mさん

アンデルセンの「人魚姫」が  
日本でどう翻訳されてきたか  
調べたい!!



最初に Google にアクセス

アンデルセン 翻訳 filetype:pdf

論文は PDF になっている  
ことが多いから  
ファイルタイプを指定しよう



アンデルセンに当て字が  
あることを発見する。

安得仙 翻訳 filetype:pdf

アンドルセンって書いてある!  
安得仙っていうのもあるの!?

あの先生の論文がでてきた!  
先生が言及している  
この本なら大丈夫そう!



## 専門家ユーザー

書誌学が専門の K さん

様々な版になっている  
源氏物語の古典籍を  
比較したい!!

海外の研究者と  
国際共同研究することも!



所蔵機関の  
デジタルアーカイブへ。  
表紙と奥付をチェック。

そこをみれば、どの版が  
判別できるんですよ。  
それが分かっている館は  
ちゃんと公開している。



利用申請手続きへ。  
書式がバラバラで対応に追われる

海外の研究者から見たいと  
言われたけど、信頼関係がないと  
難しそうだな...

紙質とかも見たいから  
最後は実物をチェック。  
でもデジタル版があれば  
助かるよね。

他の研究者で、もう  
持ってる人いないかな?

調査・分析結果をデジタルアーカイブアセスメントツールと  
組み合わせると「ユーザーに共感し寄り添う」  
デジタルアーカイブが作れるよ! という発表をします。

ポスター発表 **P02** で  
お待ちしております